

ノジマ ケイスケ
野島 敬祐 准教授

看護学部 看護学科

■ 研究業績等

【著書】

- ・著書『看護実習 DX- 実習記録のデジタル化への挑戦 -』:2024/06
- ・著書『ICT 教材を活用した看護教育 - デジタル模擬患者を活用したオンラインシミュレーション教材 -』:2024/06
- ・著書『6STEP でデザインする 看護シミュレーション教育』金芳堂 (編著者) :2023/12

【論文】

- ・学術論文『Simulation-Based Education and Nursing Student Learning Motivations: A Scoping Review』Cureus 17 (5) e84375 (共著) :2025/06
- ・学術論文『Factors of increasing learner motivation in simulation-based education in continuing education for nurses』WJARR, 24 (3) 1954-1960 (共著) :2024/12
- ・学術論文『Changes in the Professional Identity and Self-Efficacy of Nursing Students Engaged in the Objective Structured Clinical Examination Using Simulation Learning』Cureus 16 (9) : e68568. (共著) :2024/09

【学会発表】

- ・Enhancing Systems Resilience in Family Nursing Practice: Home-Visit Nurses in Rural Aging Areas (17th International Family Nursing Conference) :2025/06
- ・Nursing Practice Focused on Family Relationships by Specialist Nurses in the ER (17th International Family Nursing Conference) :2025/06
- ・Nursing Practice for Family Members in Emergency Departments in Japan: A Scoping Review (17th International Family Nursing Conference) :2025/06

効果的なシミュレーション教育

研究の概要

近年、教育分野において、シミュレーション教育は急速に広まっています。シミュレーション教育は、能動的な学習方法であり、何度も繰り返してシミュレーションすることで知識と技術を定着させることができます。医療者教育においても、患者等の対象者や医療者自身の安全のために、シミュレーション教育を多く活用しています。加えて、シミュレーション教育は単に知識や技術を習得するだけでなく、学びへの興味を高め、自ら思考を深めるなど主体的学習態度を高めるといわれています。主体的学習態度は学生の時から培うことが必要とされます。私は、看護基礎教育や現任教育において、シミュレーション教育を効果的に取り入れられることを目的とした研究活動を行っています。シミュレーション教育は、学習者や学習する場所・設備、指導者によってその方法を変えなければいけません。効果的なシミュレーション教育のデザイン、ファシリテーション技術などの開発を行っています。

研究の詳細

□研究・技術のプロセス ■研究事例 □研究成果 ■使用用途・応用例 □今後の展開

1. 病院において、シミュレーション教育を用いた現任教育を実施しています。具体的には、病棟に特徴的な場面のシミュレーション、災害対応、急変対応などを作成しています。
2. 教員が行うシミュレーション教育デザインや実施方法、ファシリテーション技法を開発しています。
3. シミュレーション教育の効果検証をしています。

産学官連携先に向けた
アピールポイント

・教育者・学習者、実施場所などに応じた、効果的なシミュレーション教育方法を提供できます。